おおはる 議会だより

No.131

●発　行　大治町議会
〒490－1192
愛知県海部郡大治町大字馬島字大門西1番地の1
TEL 052（444）2711（代）　FAX 052（444）0086
●編　集　議会広報特別委員会
●発行日　平成23年8月24日

地域の輪 広がれ　－馬島盆踊り大会－

初議会
・
6月定例会
・
7月臨時会

12人の議員 議会改革も推進 決意新たに

平成23年4月の統一地方選挙後の初議会（臨時会）を、5月10日に開会し、議長・副議長の選挙や常任委員の選任などを行いました。

また、議会基本条例の制定や議会改革を進めるため、議員全員による「議会制度改革等特別委員会」を設置しました。

6月定例会は6月8日に開会し、14日間の会期で行いました。

「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正」など、5議案を原案の通り可決し、議会推薦の農業委員も決定しました。

7月22日には臨時会を開会し、副町長の選任や教育委員の任命に同意しました。

―6月定例会―

主な条例改正

▼農業委員の報酬の見直し

年額支給を月額支給に変更し、他町村との比較も行い、報酬を見直したものです。

報酬比較表（年額　単位／円）

	会長	会長代理	委員
改正前	四〇六、六〇〇	二五三、六五〇	二〇七、一〇〇
改正後	三〇九、六〇〇	二四七、二〇〇	二〇六、四〇〇

▼町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、東日本大震災の被災者の負担軽減を図るものです。

▼国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額を引き上げるものです。

主な補正予算

▼夢をはぐくむあいち・モノづくり体験事業　10万円

モノづくりを通じて、技と生き方を学び、職業観などを醸成するものです。

対象／大治小学校の6年生
内容／切り絵ゆうゆうクラブによる「切り絵づくり」

▼地域にはたらきかける学校づくり推進事業　20万円

地域に貢献する活動などの体験を通じて、次世代を担うことができる人間を育て、魅力ある幼稚園・学校づくりを行うものです。

対象／大治西小学校
内容／あいさつ運動やリサイクル活動など

▼普通旅費　総務費　54万円

被災地で罹災（りさい）証明の発行などを行うため、町職員を派遣する交通費などです。

▼普通旅費　衛生費　25万3千円

岩手県大槌町に保健師を派遣し、被災者の健康相談、健康チェックを行います。

工事請負契約

▼公民館耐震補強等工事

契約先／株式会社　近藤組　名古屋支店
金　額／1億2421万5千円
工　期／平成24年2月29日まで

本会議質疑＆委員会ダイジェスト

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

なぜ改正か

質問 農業委員報酬を、年額から月額に改正するのは、なぜか。

答弁 農業委員の改選の年に当たり見直しをした。

また、年額から月額に変えた方がわかりやすいので、改正する。

どうして減額

質問 本町は、全町市街化区域で、農業委員の役割が減っているので、報酬を減額するのか。

答弁 農地は減少しているが、農業委員の役割は減ってはいない。

しかし、近隣の市町村と比較し、改正した。

下げ幅の違いは

質問 会長の下げ幅が会長代理や委員に比べ、大きいのはなぜか。

答弁 県内の町村との状況を比較した結果だ。

町税条例の一部改正

大丈夫か 時期

質問 東日本大震災の被災者の負担軽減を図るものだが、この条例を可決した時は、平成23年度の納税額が確定している。

この時期の改正で大丈夫なのか。

答弁 1年以内に修正申告、更正請求もできるので問題はない。

減額分の補填（てん）は

質問 被災者救済に異論はないが、改正後の町税の減額分は、国から補填されるのか。

答弁 現在、国で検討しており、何らかの措置がされると思う。

国民健康保険税条例の一部改正

値上げは なぜ

質問 国保税の課税最高限度額を、総額73万円から77万円に値上げするのは、なぜか。

答弁 地方税法施行令の改正に伴うものであり、また、医療費の支払いが年々上昇している状況のため、改正する。

影響は

質問 今回の改正で、影響を受けるのは何世帯か。

また、その影響額は。

答弁 国保加入4793世帯（平成22年度末）のうち、195世帯に影響があり、約485万円の負担増になる。

繰入金はいくらか

質問 国保は、加入者の税や国からの補助金だけでなく、さらに不足分を一般会計からの繰入金で運営している。

被保険者1人当たり、どれくらい繰り入れているのか。

答弁 平成21年度現在で、一般会計からは1人当たり1万3068円繰り入れている。

平成23年度一般会計補正予算

なぜ6月に

質問 「夢をはぐくむあいち・モノづくり体験事業」と「地域にはたらきかける学校づくり推進事業」は、本来ならば当初予算で提案するべきだ。

なぜ、6月補正になったのか。

答弁 県の委託事業だが、当初予算には間に合わなかった。

継続を

質問 単年度の学校事業でなく、長期の学校事業として取り組めないのか。

答弁 県からの委託事業のため、単年度の事業になるが、良いものであれば続けることを検討する。

暑さに負ケズ　地域に貢献

業務への支障はないか

質問 保健師を被災地へ派遣することにより、町の通常業務に影響はないか。

答弁 影響の少ない時期を選んで派遣する。

工事請負契約（町立公民館耐震補強等工事）

大丈夫か 耐震

質問 東日本大震災が起こり、耐震基準を見直す動きがあるが、どれだけ認識して発注したのか。

答弁 国の耐震基準の見直しは不確定である。

現在の町立公民館は、避難所として耐震基準を満たしていないため、住民の安全確保を考え、早急に工事をする必要がある。

問題ないか 募集方法

質問 一般競争入札では10社以上の応募があっても不思議ではないが、今回は5社しかなかった。

募集方法に問題はないか。

答弁 県の電子入札システムを使って、広く公告している。

また、告示板にも掲示しているので問題はない。

チェンジ・チャレンジ・パワーアップ！ ～理想的な議会を目指して～

議会制度改革等特別委員会報告

地方分権が進む中、議会や議員に求められている機能や責任は、ますます大きくなっています。そこで、全議員で構成する「議会制度改革等特別委員会」を、引き続き設置しました。

精力的に会議を開催

特別委員会の「議会基本条例制定」という大きな役割から、議会閉会中にも過去にないほど、幾度となく会議を開催し、意欲的に議論を交わしています。

自主セミナーの実施

議員定数の削減は、議会自体で決定したことですが、議員の少なさを痛感しながらも、町民のみなさんの要望などに応えていかなければなりません。

議論を深める中で、「議員力の向上」などを目的に、議員自主セミナーを実施することも決まりました。

海部東部消防組合との懇談会では、AEDの取り扱いや、初期消火の訓練も行いました。

議会懇談会の実施

各種団体との懇談で、町民の声をより多く聴き、議会活動の参考にするなど、さらなる政策能力の向上を目指します。

7月以降、「防災ボランティアおおはる」「海部東部消防組合」の2団体との懇談会を開催し、特に「自主防災」の重要性を再認識しました。

「防災ボランティアおおはる」の活動をお聞きしました。

議会基本条例の制定に向け

議会のあるべき姿を自覚し、具体的な改革内容を練り上げて、拘束力のある条文にしたものが議会基本条例です。

これから時間をかけて、さらに議論を深め、本町の議会にふさわしい条例を制定し、大いに働く議会を目指します。

議会報告会のご案内

日時…10月13日（木）
午後7時から

場所…スポーツセンター
サブアリーナ

ぜひ、ご参加ください。

ずばり直言！ 一般質問

6月議会の一般質問は、6月13日に行い、9人の議員が町政をただしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

子どもの医療費、中学生まで無料化を

林　健児議員

本町は子どもが他の地域に比べ多い。

実際に中学校は千人を超える県下有数のマンモス校である。

人々の暮らしと命を守る政治にとって、最も重要な観点から、安心して子育てするために、中学生の通院医療費の無料化を提案する。

所得制限がなく、医療機関での自己負担もない方式による制度の実施を。

実施の方向で

町長　子育て支援は重要であり、マニュフェストの一つでもある。

中学生までの無料化は、昨年度から調整に入っており、来年度の実施に向けて、医療機関での自己負担のない方法も検討する。

問　明眼院の仁王像を文化財に

答　指定に向け動く

総合型地域スポーツクラブ育成の考えは

横井良隆議員

国の「スポーツ振興基本計画」に基づき、県では平成24年度までに、総合型地域スポーツクラブを、全市町村に育成するとしている。

県内市町村での育成率は81・48％で、未検討は残りわずか4自治体であり、本町もこれに入っている。

町の総合型地域スポーツクラブ育成の考え方と今後の対応は。

前向きに検討

教育長　過去に検討会を行ったが、設立には至っていない。

スポーツ課長　平成24年度を目標にし、本町にあったクラブを育成したい。

これから検討委員会を立ち上げ、進める。

問　資源ごみの持ち去り対策を

答　検討していく

地震時のガラス飛散防止の推進を

後藤田麻美子議員

東海・東南海地震の発生に備え、児童生徒の安全確保は不可欠だ。

小・中学校のガラス飛散防止を、早期に行う必要があるが、町長の考えは。

また、民営の幼稚園・保育園のガラス飛散防止を推進するため、補助金をつける考えはないのか。

飛散防止フィルムで

町長　西小学校以外の小・中学校は対策が済んでいないので、飛散防止フィルムで対応する。

幼稚園・保育園は、大部分が対策が済んでいるので、補助金は考えていない。

問　公共施設に涼しさを呼ぶ緑のカーテンを

答　保健センターで実施

充実せよ地域防災計画

吉原経夫議員

地域防災計画には、「居住に不適当な区域の住民に移転の助成を行い、集団的移転の促進を図る」とある。

危険地域の中に、「町洪水ハザードマップ」にある5㍍以上浸水する地域や、液状化の影響が非常に大きい所は指定されているのか。

また、実際に移転対策を行っているのか。

不適当な地域なし

総務課長　指摘された所をすべて指定すると、町全域に住民が住めなくなる。

町長　町民の居住に不適当な地域はなく、危険地域からの移転対策は行っていない。

問　浜岡原発永久停止を

答　国に要望はしない

問　国保税を一万円下げよ

答　現状では無理

太陽光発電施設の導入に補助を

村上昌生議員

国は、「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金」の制度を設け、余剰電力も電力会社に買取りを義務づけている。

県も「あいち地球温暖化防止戦略」の中で導入を促進し、補助制度を設けているが、町に補助制度がなければ県の補助金は受けられない。

町も住宅用太陽光発電施設導入に対する補助金制度を創設するべきだ。

創設を検討

町長　太陽光発電施設に関しては、来年度、補助制度を創設するよう検討をしていく。

問　農地と宅地開発の共生を

答　地元との調整を促すなど、対応・指導をする。

水害を重点にした防災対策で安全確保を

折橋盛男議員

大雨・集中豪雨のときの冠水被害をいかに少なくするかが重要である。

町全域で宅地化が進み、田畑が少なくなったために、雨を吸収するところがなくなり、側溝から水があふれるところが多くなった。

今後、水害対策の強化は。

また、砂子第1排水機場にポンプ増設の計画はないか。

県に要望

町長　昨年、「雨水対策プロジェクトチーム」をつくり、課を超えて対策を練っている。

砂子第1排水機場は、用地買収が終わったところなので、すぐ、県に要望に行く。

問　災害時の避難所対策は

答　民間施設も含め、充実に努める

中学校の部活動に対する認識は

広田幸治議員

中学校の部活動では、その後の人生における大切なこと、社会性などを高めることができる。

しかし、中学校は千人を超えるマンモス校で、それに合わせて、運動場や各施設が大きく膨らむわけではない。

保護者から場所が狭いという声があるが、部活動の現状をどのように認識しているのか。

工夫して部活動

教育長　中学校内で工夫を凝らして活動している。

限られたスペースで活動しているが、中学校からは、問題提起はされていない。

中学校の学習指導要領に、部活動の位置づけがないのが問題である。

問　子育て世帯への支援を

答　幅広く支援を実施

見直しと強化を 災害対策

浅里周平議員

町の防災計画では、東海・東南海地震の連動までを想定しているが、それで良いのか。南海地震の連動まで想定した対策を立てるべきではないか。

また、避難所の拡充や、水害時での貯水池の整備など、災害対策を強化すべきと考える。特に、新川東地域の避難所充実と、水害対策では道路の地下に貯水池を設けよ。

防災計画は見直す

総務課長　今後、国や県の防災計画見直しの際には、町防災計画の見直しを行いたい。

新川東地域は避難所が少なく、民間企業とも協定を結び、確保していきたい。

貯水池は河川計画で検討していく。

問　名刺広告は公選法違反

答　選管では判断しない

下水道計画の見直しは可能か

服部勇夫議員

本町は、平成15年度より日光川下流流域下水道区域に属し、下水道工事を進めている。

名古屋市に隣接する新川東地域の町道に、市が下水道管を敷設した際に、市側と協議した経緯がある。

そこで、新川東地域は市と協議をして、市の下水道区域に変更できないか。

受け入れ計画なし

下水道課長　名古屋市は市内で想定される計画汚水量をもとにしているため、他の市町村の汚水を受け入れる計画・整備はしていない。

しかし、町の下水道整備に支障を来たすこととなる区域が発生した場合、市の方へ流入をお願いすることになっている。

議会構成

◎委員長
○副委員長
委員は議席順

議長　織田　八茂

副議長　下方　繁孝

監査委員　村上　昌生

総務教育常任委員会
◎服部　勇夫
○浅里　周平
吉原　経夫
折橋　盛男
下方　繁孝
豊田　さか江

福祉建設常任委員会
◎横井　良隆
○村上　昌生
広田　幸治
林　健児
後藤田 麻美子
織田　八茂

※議員の住所などは、町のホームページにて公開しています。

議会運営委員会
◎豊田　さか江
○服部　勇夫
後藤田 麻美子
村上　昌生
横井　良隆
浅里　周平

議会広報特別委員会
◎浅里　周平
○横井　良隆
広田　幸治
林　健児
吉原　経夫
折橋　盛男

議会制度改革等特別委員会
◎後藤田 麻美子
○下方　繁孝
（委員は全議員）

一部事務組合議会議員

海部地区環境事務組合
豊田　さか江

海部東部消防組合
村上　昌生
横井　良隆
（議長）織田　八茂

海部地区水防事務組合
服部　勇夫

海部地区急病診療所組合
後藤田 麻美子

	議　　案	賛成	反対	結果
初議会	監査委員の選任同意　※ 選任議員は採決不参加	9	1	同意
6月定例会	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	11	0	可決
	町税条例の一部改正	11	0	可決
	国民健康保険税条例の一部改正	11	0	可決
	平成２３年度　一般会計補正予算（第１号）	11	0	可決
	工事請負契約（町立公民館 耐震補強等工事）	10	1	可決
7月臨時会	副町長の選任同意	9	2	同意
	教育委員会の委員の任命同意	11	0	同意

7月臨時会人事案件

▼副町長

野倉　晃氏（58 歳）

前職 / 町総務部長
任期 / 平成 27 年 7 月 31 日まで

▼教育委員

鈴木　隆広氏（55 歳）

前職 / 町会計管理者
任期 / 平成 24 年 9 月 30 日まで
（前任者の退職による残任期間）
なお、7 月 29 日の教育委員会で、教育長に選ばれました。

まちかど インタビュー

No. 24

馬島地区で、盆踊り大会の担当をされている副総代の鎌田信之さんに、お話を伺ってきました。

鎌田信之さん

――いつ頃から始められたのですか

盆踊りは50年ほど前に、青年団が始めました。

最初は明眼院の参道で、2トントラックを舞台にし、レコードで音楽を流して踊っていました。

必要なものは、提灯一つから自前で揃えました。

後に婦人会が引き継ぎ、アオキスーパーの駐車場でも行っていました。

今は、婦人会だけではなく、地域の方々が力を合わせて行っています。

――50年は長いですね

行事は一度やめると始めるのが大変です。盆踊りをやめていく地域がありますが、続けていきたいと思います。

行事を通じて、新しい人たちとも顔馴染みになれたらと思っています。

――工夫している点は

盆踊りの告知ポスターは、子ども会が協力をしてくれます。各自でポスターを作って、あちこちに貼ってくれています。

盆踊り当日は、そのポスターを一カ所に集めて展示しています。

昔はチケットを売って模擬店をやっていましたが、少しずつ改良を重ねて、今はジュースなどを無料で提供をしています。

他の地域の子どもたちも、それを楽しみに集まってくれます。

抽選会で景品を渡していますが、子どもたちには文房具、大人にはスイカや生活雑貨が渡るようにしています。

太鼓も花を添え

――盆踊りの今後についてどのようにお考えですか

昔は総代が全てやっていました。今は、地域で役割分担をしています。

実行部隊の神社係は、仕事に慣れているので、テント張りなど仕事が早いです。

しかし、平均年齢が上がってきたので、若い人に引き継いでいきたいと考えています。

本日はありがとうございました。

お話を伺う中で、地域を大切に思う気持ち、地域の力を感じました。

これからも地域発展のために頑張ってください。

9月定例会日程（案）

1日（木）本会議（上程・提案説明等）
5日（月）本会議（一般質問）
6日（火）本会議（質疑等）
8日（木）福祉建設常任委員会
9日（金）　〃
12日（月）総務教育常任委員会
13日（火）　〃
21日（水）本会議（採決等）

※初日のみ 14 時開会。その他は 10 時からです。
※日程は変更となる場合があります。
定例会日程は、町のホームページでも確認いただけます。

本会議を傍聴してみませんか

町政の様子を知るには、議会を傍聴することが一番です。

傍聴を希望される方は、本会議の当日、受付（役場 4 階議場前）後、傍聴席へお入りください。

定員は 60 人です。

暫時休憩

▼4月の町議会議員選挙後、初めての定例会が開かれました。

▼12人の議員のうち、9人が登壇するなど、一般質問はかつてなく活況（質問者率75％）でした。

▼定数を削減した関係もあってか、3分の1を新人議員が占めており、少しばかり大変ですが、「議会力」の向上にがんばります。

▼前期に引き続き、全議員で構成する議会制度改革等特別委員会を設置し、議会改革にも取り組んでいます。

▼議会閉会中も数多くの会議を開くなど、大いに汗を流しています。